

## シームレスな XML と RDB の統合ストレージ

総合情報学部 情報科学科 北川研究室

Keywords: XML, RDB, ストレージ

### 1. 研究目的

現在、企業の情報システムを見ると、日常業務には RDB (Relational DataBase) を使い、情報発信 (Web) や帳票印刷などには XML を使うという使い分けが多いように思われる。これは、RDB と XML の良いところを活かした使い方なので問題は無いように思われるが、情報リソース (情報資源) の管理という点から見ると、両者の情報システムに不一致が発生する問題をはらんでいる。そこで、本研究では日常業務の RDB はそのまま理よし続け、情報資源管理の視点から統合したシステムを構築するための方策として、シームレスな XML と RDB の統合ストレージを提案する。

### 2. シームレスな XML と RDB の統合ストレージ

図 1 にシステムの概念図を示す。基本的には現在利用中の日常業務はそのままに、それらが利用する RDB を XML の情報資源と見せるための方式を考案した。特徴は DRB 中の必要テーブルの所在情報を情報管理 XML の中に一行書き込むだけでよいことと、RDB のスキーマ情報を自動生成することにより、特別な手間をかけなくて良いところである。また、資源管理 XML への XQuery による問い合わせを、埋め込まれた RDB の SQL 問い合わせに変換して返す仕組みも考案中である。この仕組みにより、RDB 内の情報に XML 情報管理システムから自由にアクセスできるようになる。

### 3. 応用の可能性

本システムは特定の業種や情報処理の過程に依存しないので、RDB を利用していて、かつ情報資源管理をする企業にとって、有効なツールになると思われる。

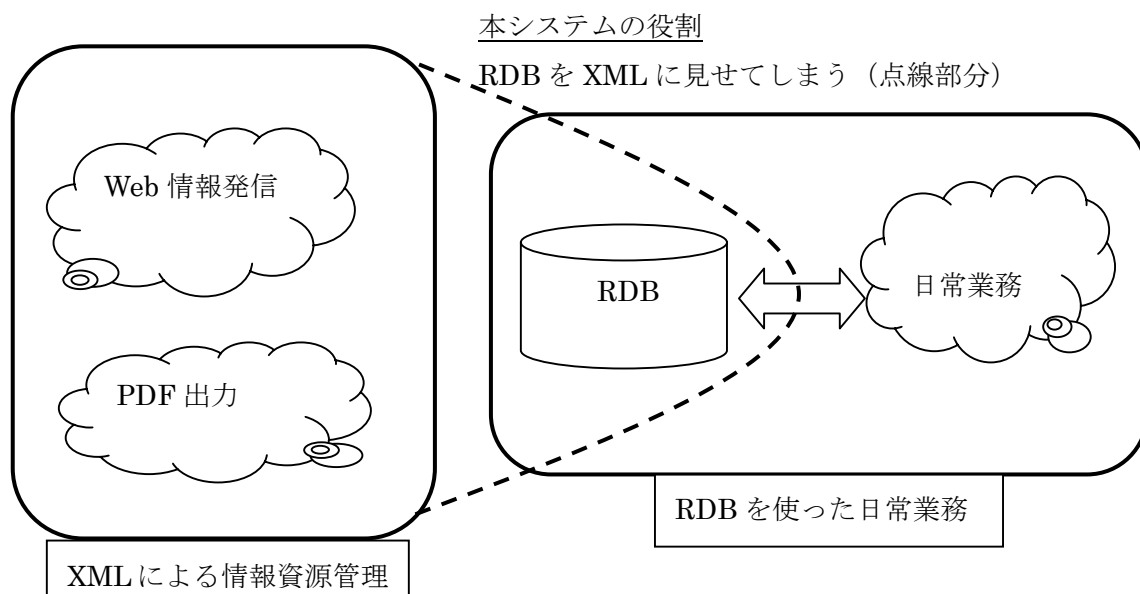


図 1. システム概念図